

編集後記

■編集委員 (50音順)

出月 康夫
白日 高歩

北島 政樹
堤 治

北野 正剛
万代 恭嗣

小西 文雄
東原 英二

本号の特集は「内視鏡下手術のトレーニング・システム」である。内視鏡下手術と比較して開腹手術では、「トレーニング」ということが特集号の主題にされることはめったにない。また、開腹手術においては「トレーニング」という言葉を耳にすることすら少ない。その理由の1つとして、腹腔鏡下手術では高度の技術的修練が必要とされるということが考えられる。とかく学会発表においては、内視鏡下手術は視野が良好で、手技的にも簡単で誰にでもできる、といったイメージを与えるような傾向がある。実際は油汗をかきながら行っているような手術であっても、演者の明解な説明を聴き、要所要所のみが編集された手術手技のビデオを軽快なリズムの音楽をバックに供覧されると、明日からでも誰にでもできるような手術であるかのような錯覚にとらわれる。私は常々、このような腹腔鏡下手術の供覧の仕方に疑問を持っている。手術が適切、かつ安全に行われるためには、アニマルラボ、さらに hands-on training を基本としたトレーニング方法についての十分な検討を重ねる必要があると思われる。特に、現時点では症例数が少ない手術、トレーニングコースで言えば advanced course の対象となるような、大腸切除、胃切除、噴門形成、脾臓摘出などでは、術者と助手を一定させて、継続的に臨床例に取り組む必要性を感じている。

本特集では、海外におけるトレーニングコースの紹介も含めて、消化器外科、呼吸器外科、婦人科、泌尿器科など、多方面にわたるトレーニング方法の紹介とその問題点が述べられている。私の専門領域である大腸切除については、腹腔鏡下大腸切除研究会が主催して1年に3回、アニマルラボを中心とした講習会を開催しており、毎回定員を超える応募をいただいている。この講習会に参加される先生方を見ると、毎年、腹腔鏡下手術一般の技術的レベルが向上しており、腹腔鏡下手術に対しての関心がますます高まっていることを感じる。講習会に参加されたのち、個々の施設においてその経験が生かされることを願っている。このように、特に若い先生方の腹腔鏡下手術に対しての関心が広まる状況で、トレーニングコースの充実、また、個々の施設における実地修練のシステムの充実が今後の腹腔鏡下手術のさらなる発展につながると考えられる。

(小西文雄)

日本内視鏡外科学会雑誌 (第6巻 第5号) 2001年10月15日発行・隔月刊

Journal of Japan Society for Endoscopic Surgery (Tokyo)

1部定価: 会員には毎号送付されます。その他については、1部定価 (本体2,700円+税) (配送料85円) となります。

2001年 年ぎめ予約購読料: 16,500円 (配送料: 医学書院負担)

編集・発行: 日本内視鏡外科学会 (代表: 出月康夫)

〒113-8622 東京都文京区本駒込 5-16-9 (財)日本学会事務センター内

(☎ 03-5814-5801 Fax 03-5814-5820 担当: 佐々木, 高柳) <http://www.hop.ne.jp/~jses/>

Published by Japan Society for Endoscopic Surgery, 5-16-9 Honkomagome Bunkyo-ku,

Tokyo, 113-8622, Japan

©2001, Printed in Japan

発 売: 株医学書院 (代表: 金原 優) (本誌担当: 田村, 中田) <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

〒113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3 (振替口座 00170-9-96693 番)

本誌編集室直通 ☎ 03-3817-5707 (Fax 03-3815-7802 E-mail: jses@igaku-shoin.co.jp)

販売部直通 ☎ 03-3817-5659・5660 (Fax 03-3815-7804)

印刷所 横山印刷(株) ☎ 03-3622-6161 (Fax 03-3625-1591)

広告申込所 (株)文栄社 ☎ 03-3814-8541 (Fax 03-3816-0415)

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意下さい。